

作業効率アップ、多様なアプリケーションにも対応した高性能モデル

マルチファンクションプロセスキャリブレータ CA500シリーズ

YOKOGAWA
横河計測株式会社

特長

高確度

基本確度が異なる2モデルをラインナップ

薄型設計×堅牢性

片手で持ちやすい薄型ボディ、
プロテクションによる堅牢性向上を実現

マルチファンクション

直流電圧、直流電流、熱電対、測温抵抗体、抵抗、周波数、
パルスの発生・測定が可能

17種類の熱電対に対応 (JIS/IEC/DIN/ASTM/GOST R)

14種類の測温抵抗体に対応 (JIS/IEC/GOST R)

多彩な発生パターンに対応

リニアスイープ

出力0%~100%の間で連続的に変化させられます。

ステップスイープ

0%~100%を、設定したステップ数で階段(ステップ)状に出力でき、

発生値と測定値が保存されます。

※ステップの分割数は、2~20点

プログラムスイープ

任意の出力値(%)とステップ数で出力でき、発生値と測定値が保存されます。

※CA500は、10ステップ、CA550は20ステップ

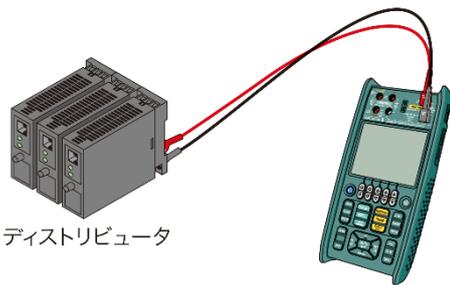


モデル	直流電流	抵抗	測温抵抗体
標準モデルCA500	0.015%	0.020%	0.3°C
上位モデルCA550	0.010%	0.015%	0.1°C

アプリケーション

20mA SIMULATE

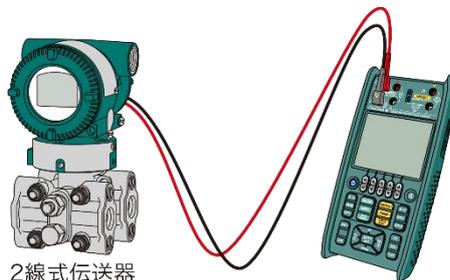
計装機器の外部電圧発生源（ディストリビュータ）から設定に応じた電流を吸い込む（SINK）ことで伝送器シミュレータとしてループテストが行えます。



ディストリビュータ

2線式伝送器ループチェック

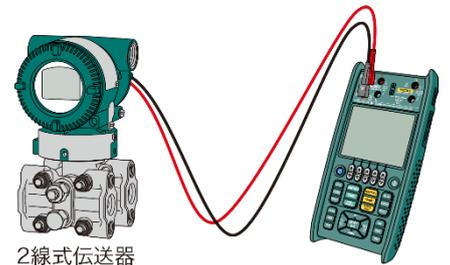
伝送器電源DC24Vを供給しながらDCmA信号を計測します。ゼロ点の確認等、DCmA信号計測を0.01%rdg（CA500は0.015%rdg）の高精度で実現します。また250Ωの通信抵抗を内蔵（HART/BRAIN通信に対応）しており、ハンディーターミナル接続時に250Ω外付け抵抗の必要がありません。



2線式伝送器

HART伝送器のゼロ点調整

CA550は、HART通信（Universal command/Common practice commandの一部）に対応。HARTデバイス情報の読み取りに加え、LRV/URVの書き込みやアナログ出力のトリミングが行えます。

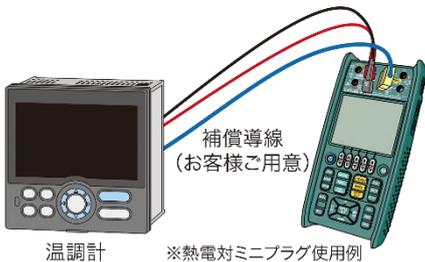


2線式伝送器

※2020年6月対応予定

TC SIMULATE

17種類の熱電池に対応した熱起電力の発生が可能です。基本精度0.5℃（タイプKの代表値）と従来機種比2倍の精度で信頼性の高い試験が可能です。出力信号も測定可能なため、1台で入出力試験が可能です。TCミニプラグを使用する場合、RJセンサーは不要です。

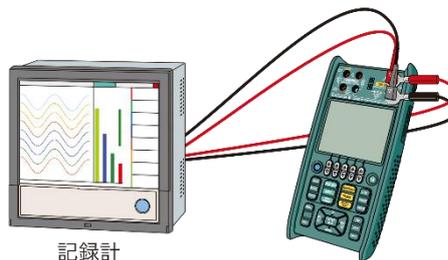


温調計

※熱電対ミニプラグ使用例

RTD SIMULATE

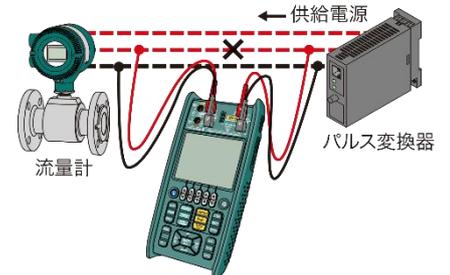
14種類の測温抵抗体に対応した、測温抵抗体の擬似抵抗発生が可能です。基本精度※0.1℃（Pt100の代表値）の精度で信頼性の高い試験が可能です。※CA550の精度



記録計

パルス SIMULATE

流量計からのパルス信号の積算値測定および積算カウンタ・パルス変換器などの受信器へのパルス発生が可能です。1min～60minの範囲でパルスカウンタの積算時間を設定できます。



流量計

パルス変換器

明治電機工業株式会社

本社	(052)451-7651	仙台営業所	(022)771-0460
四日市営業所	(059)353-0241	大阪営業所	(06)6338-3021
名古屋北営業所	(0587)59-6331	福岡営業所	(092)414-9551
豊田支店	(0566)81-9121	ソリューション事業本部	(052)451-7658
豊橋営業所	(0532)53-5050	エンジニアリング事業本部	(0566)82-8514
東京支店	(045)476-5601	業務部	(052)451-7651
西東京営業所	(042)660-0676		

「Yeah!!報」に関するお問合せは下記までお願いいたします。

※掲載内容につきましてはお断りなく変更することがありますのでご了承下さい。